

森林・林業及び森林レク 事業のPRについて (962)

蔵王森林センター

○早坂 隆雄

豊沢 満

はじめに

蔵王森林センターは、森林の空間を利用した新たな事業の展開を図るための企画・指導及び各種調査等並びに森林・林業の普及啓蒙の円滑な実施に資するために設置され、三年目を迎えています。

そこで今回は、森林・林業及び国有林野事業のPRについて、森林レクリエーションを折り込んだこれまでの取り組み状況を紹介すると共に、参加した一般市民の反応を基にしながら、今後、森林を活用したガイド事業や各種イベント等の取り組みにおける留意点を探ってみたので報告します。

表一 1 これまでの取組状況

63 年 度	<p>※考え方</p> <p>1, 森林センター発足初年度であり、何回か実施する中から将来に向けて経験を積み上げることとする。</p> <p>2, ビデオや写真パネル等を活用して、主に森林・林業のPRを行う。</p> <p>3, 費用は無料とする。</p> <p>※実施内容</p>		
	イ ベ ン ト 名	場 所	参 加 者
	森 林 教 室 緑のスクール(2回)	森林センター展示室外 蔵王坊平野営場外	緑の少年団 中学生、小学生親子
元 年 度	<p>※考え方</p> <p>1, 森林センターの存在を早くかつ広く知ってもらうために、内容を吟味しつつ、より多くのイベントを開催する。</p> <p>2, 物を教えるというよりも、遊びながら学んでもらうことを主眼とする。</p> <p>3, 森林浴の集いでは次のとおりとする。</p> <p>(1) 森林(特に蔵王)に興味がある人はどの程度いるのか、又、参加者の意識や要望はどうかを把握する。</p> <p>(2) 交通費等の実費分だけは参加者から徴収する。</p> <p>※実施内容</p>		
	イ ベ ン ト 名	場 所	参 加 者
	森 林 教 室 緑のスクール(6回) 森林浴の集い	山形市内小学校 蔵王坊平野営場外 蔵王(地蔵山~熊野岳)	三学年親子 首都圏小学生 一般市民

2 年 度	<p>※考え方</p> <p>1. 前年度の実績から手法や参加者の確保等については、一定の目途がついたので質・量とも大幅な向上を図る。</p> <p>(1) インストラクターの資質を向上させるために、イベント前に現地において毎回研修会を行う。</p> <p>(2) 予め想定問答を作成し、各インストラクターが統一した対応をする。</p> <p>(3) スナップ写真やネームプレート等後日の記念になるものを配付する。</p> <p>2. インストラクター派遣料等による収入を見込む。</p> <p>(1) 外部から派遣要請があったものについては、原則として派遣料を徴収する。但し、教育的度合の高いものについては徴収しない。</p> <p>(2) 当センターで企画した一般市民向けのイベントでも交通費等の実費の他インストラクター料分を含んだ会費を徴収する。</p> <p>※実施内容</p>		
	イ ベ ン ト 名	場 所	参 加 者
森林教室	上山市経塚山（自然休養林）	地元子供会	
森林浴の集い	歳王（地歳山～熊野岳）	一般市民	
森林教室（2回）	歳王一带（3コース）	全国各地の子供	
親子森林教室	歳王（イロハ沼～ドッコ沼）	村山市民	
緑のスクール（5回）	歳王坊平野営場外	首都圏小学生	
森林教室（2回）	"	青森・山形高校生	
森林浴の集い	歳王（刈田岳～熊野岳）	一般市民	
"	歳王（中央高原）	"	
木工教室	森林センター	"	
森林浴の集い	歳王（イロハ沼～ドッコ沼）	山形県民	

表一 2 参加者の反応

63 年 度	<p>1, イベントの開催回数が少なく、参加者に対して成果を問うまでには至っていないと判断し、アンケート等による反応は確認していない。</p>
元 年 度	<p>1, 森林教室 経費が極めて少ないのに対して、内容は大変良かったとの評価を得ている。年度末には次年度実施として3件開催要請があった。</p> <p>2, 緑のスクール 木ノ実をかじったり、我先にと木に登って巣箱を掛けたり、蛇を見つけては手でさわったりして自然に触れる喜びを体全体で現していた。</p> <p>3, 森林浴の集い(アンケート)</p> <p>Q1 何で知りました? Q2 参加した動機は? Q3 参加した感想は?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 1048 523 1301"> </div> <div data-bbox="608 1048 863 1301"> </div> <div data-bbox="948 1048 1203 1301"> </div> </div> <p>Q4 センター-職員の対応は? Q5 今後の森林浴について</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="316 1391 571 1644"> </div> <div data-bbox="799 1391 1054 1644"> </div> </div> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 私達のような年寄りでも、親切に連れて頂き有難く感謝しています。 (2) 企画、用意周到、懇切丁寧な指導・案内有難く思います。 (3) 農林水産省と聞いただけで暗いイメージしか無かったのに今日はユニークに見えました。 (4) これまでの植物観察会等にはない親切な心配りに敬服しました。

2
年
度

1. 森林教室

- (1) 前年度に要請されたものを実施した後に、情報を得たということで新たに3件の要請があった。
- (2) このような状況や参加者の会話等から、好評であったことが伺われた。

2. 緑のスクール

- (1) 深く森林と親しんでもらうために、樹名当てクイズや樹高測定遊び、巣箱製作、丸太切りとコースター作り等、体験メニューにした。
- (2) 「体と頭を使った学校にはない楽しさを味わった」と、感激していた。
- (3) 丸太切りとコースター作りでは、家族の分まで作り、みやげにすると頑張っていた。

2 3. 森林浴の集い (アンケートその1)

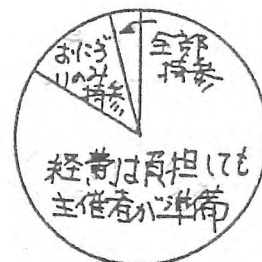
Q1 開催場所は?



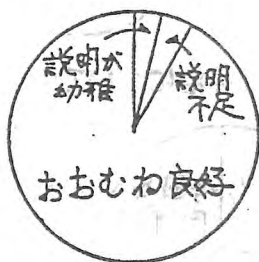
Q2 会費(¥3,000)は?



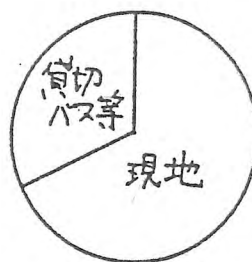
Q3 昼食は?



Q4 イントラの説明は?



Q5 集合場所は?



Q6 林野庁は「森林浴の集い」等にも組んでいるがどう思うか?

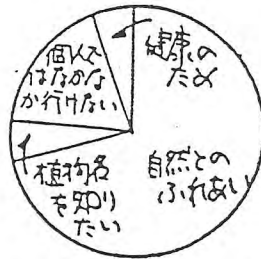
- (1) 大変良いことだと思う、私達にとって親しみやすい森林の活用を望みます。
- (2) 個人での森林浴は単なる登山となり、景色などは自分だけの感じ方で終わってしまうが、こういう機会では知識も仲間も増えて嬉しいことです。
- (3) 時代に即した素晴らしい事業だと思うのでもっと積極的にPRすべき。
- (4) 特定の者だけが国有林を守っていても本当の守りにはならないし、一人でも多くの方が森林を理解して、応援できるようにPRしてほしい。

3. 森林浴の集い (アンケートその2)

Q1 何で知ったか?



Q2 参加した動機は?



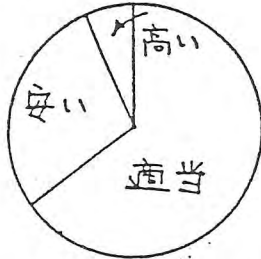
Q3 開催場所は?



Q4 集合場所は?



Q5 会費(¥3,000)は?



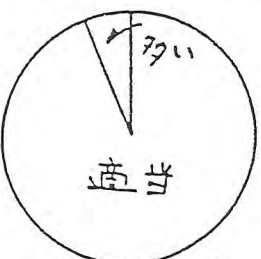
Q6 昼食は?



Q7 イントラの説明は?



Q8 班(10人)編成は?



Q9 新しい散策路を作ることは?



Q10 意見・要望は?

- (1) PRの仕方が地味なので知らない人が多いと思う、PRに一考を。
- (2)紅葉した自然の中を散策できる楽しさを味わう反面、スキーコースが気になった。
- (3)サルノコシカケ・ドクダミを煎じたお茶を頂いたが、山で飲んだせいかとても健康になったような気がする。
- (4)植物名を多く知りました、この次は公害との関連等で山の話聞かせて欲しい。
- (5)キャラボクやブナの実が食べられるということを初めて知りました。
- (6)蔵王の麓にいながら蔵王のことの知らなさに我ながら驚いています。
- (7)皆さんと初めて会ったのですが、十年も前からの知人のように感じられました。

2
年
度

今後の課題

1. イベントの内容については、同一者が何回も参加するという実態があることから、少なくとも5か年程度のプログラムを持っていること。

(これまでの実績)

1回参加者	94名	65%
2回参加者	36名	25%
3回参加者	12名	8%
4回参加者	2名	2%

2. インストラクターとして最低限の資質を備えるとともに、独自のセールスポイントを持つため常に自己研さんに努めること。
3. インストラクターは、イベントの中では自分も参加者と一緒に楽しむという気持ちの余裕を持つ。
4. 森林・林業に対して、一般市民は何を期待しているのか又、私達は何を訴えていくのかというテーマを常に整理しておく。そのためには林野庁・営林局との情報交換を密にして、常に最新の情報を提供する。
5. 国有林野事業としてやっていく以上は、当然収入を見込むことから、参加者にいつも新鮮味を持ってもらうためには、開催場所を事業区単位にこだわらず、エリアを拡大する必要がある。